

令和5年度 60回生 授業概要（シラバス）（案）

科目名	暮らしを支える看護技術Ⅰ	分野/教育内容	専門分野/地域・在宅看護論
開講年次・時期	2年後期 令和5年11月24日	単位数/時間	1単位/15時間
担当講師名	畠山 千章	所属・役職	宮古高等看護学院
		資格・免許	看護師
授業の概要	看護を必要とする人々の日常生活支援技術を学ぶ		
到達目標	1. 日常生活支援を必要とする療養者の特徴とヘルスアセスメントについて理解できる 2. 在宅における療養支援方法と留意点について理解できる		
事前学習内容	・講義に関連する章を熟読してから受講してください。 ・次回講義に向けて、毎回予習課題を指示します。		
成績評価の方法	1) 終講試験 100点満点（6割未満は再試験対象） 2) 出席状況 3) 課題の取り組み状況（内容の不足や提出期限超過は減点対象）		
使用テキスト	・地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術：メディカ出版、第2版第1刷、2022. ・地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア：メディカ出版、第7版第1刷、2022.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	在宅看護における安全と健康危機管理 在宅療養生活を支える基本的な技術		講義
第2回	感染予防		講義
第3回	食生活		講義
第4回	脱水・熱中症		講義
第5回	清潔		講義
第6回	肢位の保持と移動		講義
第7回	排泄		講義
履修上の留意点	・既習の知識（病態・基礎看護技術・制度）を活用しながら在宅特有の看護援助方法を学習できるように、関連事項について主体的に予習・復習に取り組みましょう。 ・グループワークを行う際は、相手の考えを尊重する姿勢で臨むとともに、自己の考えを積極的に発言しましょう。 ・授業資料や自己学習の成果物は、3年次の地域・在宅看護論実習に活用できるようファイリングしておきましょう。		

令和5年度 60回生 授業概要（シラバス）

科目名	暮らしを支える看護技術Ⅱ	分野/教育内容	専門分野/地域・在宅看護論
開講年次・時期	2年後期 令和5年10月18日	単位数/時間	1単位/15時間
担当講師名	大黒 ひろみ 先生	所属・役職	宮古山口訪問看護ステーション 所長
		資格・免許	看護師
授業の概要	地域で療養する人々に必要な医療管理技術を学ぶ。		
到達目標	1. 医療的処置を必要とする療養者の特徴とヘルスアセスメントについて理解できる 2. 在宅における医療的管理の方法と留意点について理解できる		
事前学習内容	・講義に関連する基礎看護技術について復習してきてください。 ・講義に関連する章を熟読してから受講してください。		
成績評価の方法	1) 終講試験 100点満点（6割未満は再試験対象） 2) 出席状況		
使用テキスト	・地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術：メディカ出版、第2版第1刷、2022. ・地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア：メディカ出版、第7版第1刷、2022.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	医療ケアの原理原則 薬物療法、がん外来化学療法		講義
第2回	排痰ケア、気管カニューレ管理 在宅酸素療法（HOT）		講義
第3回	在宅人工呼吸療法（HMV） ・非侵襲的陽圧換気療法（NPPV） ・気管切開下間歇的陽圧換気療法（TPPV）		講義
第4回	排尿ケア、ストーマ管理		講義
第5回	在宅経管栄養法（HEN）、輸液管理		講義
第6回	褥瘡管理、足病変のケア、インスリン自己注射		講義
第7回	在宅CAPD管理、疼痛管理		講義
履修上の留意点	・既習の知識（病態・基礎看護技術・制度）を活用しながら在宅特有の看護援助方法を学習できるように、関連事項について主体的に予習・復習に取り組みましょう。 ・グループワークを行う際は、相手の考えを尊重する姿勢で臨むとともに、自己の考えを積極的に発言しましょう。 ・授業資料や自己学習の成果物は、3年次の地域・在宅看護論実習に活用できるようファイリングしておきましょう。		

科目名	暮らしを支える看護技術Ⅲ	分野/教育内容	専門分野/地域・在宅看護論
開講年次・時期	2年後期 2024年1月	単位数/時間	1単位/15時間
担当講師名	畠山 千章	所属・役職	宮古高等看護学院
		資格・免許	看護師
授業の概要	地域で生活する人々の健康の保持・増進・疾病予防に関わる教育・指導技術を学ぶ		
到達目標	1. 健康教育・指導の具体的方法を理解できる 2. 地域特性、対象の特性に応じて、健康増進、疾病予防の促進を目指した健康教育・指導を展開できる 3. 健康教育・指導の経験をとおして健康課題に応じた看護活動のあり方を考えることができる		
事前学習内容	第1回目の授業に向けて以下についてノートにまとめる ①トランスセオレティカルモデル、自己効力理論、ヘルスプロモーション ②出身地域の健康課題と問題が生じた背景		
成績評価の方法	1) 終講試験(50点)＋演習(30点)＋レポート(20点)＝合計100点満点 ＊終講試験：50点満点中6割に満たなかった場合は再試験 ＊演習評価：健康教育演習の評価基準は別途示す ＊レポート：2回(10点×2) 評価基準は別途示す ＊提出物の期限超過は最終成績から減点 2) 出席状況(学則に準ずる)		
使用教科書	参考) 地域療養を支えるケア(メディカ出版、第7版第1刷、2022年) 基礎看護技術Ⅰ(医学書院、第18版第1刷、2022年) 成人看護学総論(医学書院、第16版第1刷、2022年) 国民衛生の動向2022/2023(厚生労働統計協会、第69巻第9号、2022年) その他、参考資料を随時配布		
回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
1	基本的な健康教育・指導技術		講義
2	地域における健康教育・指導の実際①		講義
3	地域における健康教育・指導の実際②		講義
4	対象に応じた健康教育・指導(演習準備)		グループ学習
5	演習：健康教育		発表
6	演習：健康教育		発表
7	地域における健康教育・指導の課題		講義
	終講試験		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに履修した健康教育・指導に関する授業内容を振り返り、既習知識を活用しながら講義に臨む。 ・グループ学習の際は、他者の意見を尊重し、且つ自己の考えも発信しながらグループの学びが深まるよう意欲的に取り組む。 ・発表に向けて、放課後等の時間も活用しながら計画的に準備を進める。 ・本授業および今後の地域・在宅看護論の授業資料、自己学習内容は、3年次の実習に活用できるようファイリングしておくこと。 		

	授業内容	次回講義に向けての準備課題
第1回目	<p><説明 5分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス内容の確認 <p><考える：15分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：教職員9名 ・テーマ：運動習慣をつけよう、まずはラジオ体操から ・どのような方法で集団指導を行いますか？（場所、時間、指導方法） <p><発表：15分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・方法を考えるときに何に留意？ポイントは？ <p><説明；50分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な指導技術について 視点) 対象とニーズ 自己効力理論/行動変容モデル 個別指導、集団指導 教材 	自己効力理論 行動変容モデル ヘルスプロモーション 健康増進法 健康日本21 介護保険法
第2回目	<p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で開催されている健康教育・指導の具体（どこで、誰が、どのように・・・） 例) 市町村保健センター内 地域の公共施設 家庭訪問 学校 避難所 ・ヘルスプロモーション ・健康増進法、健康日本21（第二次） 	グループ分け 健康診断票の配布 欠課の分析と必要な指導
第3回目	<p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断結果をもとに、必要な個別指導を考える <p><グループワーク></p> <p>グループ間で共有 対象に指導する時の留意点、方法・工夫を考える 個性のある指導を実践するために、把握すべき情報とは何か</p> <p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導上の留意点の確認（対象理解、動機付け、行動変容を促す工夫） 	事例の決定 （地域設定・対象の設定・人数・場所） （案） <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症予防（労働者対象） ・塩分制限（主婦対象） ・運動習慣（高齢者） ・虫歯予防（3歳児の親）
第4回目	<p><説明> 集団に対する健康教育・指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて計画書の立案 ・教材研究 ・準備 ・発表方法・評価方法 	評価表 発表スケジュール
第5・6回目	<p><発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1G 15分間 質疑応答 5分間 	

第7回目	<p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育・指導の課題 地域の現状 多職種連携の重要性 継続支援の重要性 	
------	---	--

評価

1. 終講試験・・・60点
2. 健康診断結果票の分析（レポート）・・・10点
3. 発表・・・30点

<教員：30点満点>

- ・提出期限の厳守（計画書・教材）
- ・計画書の内容（具体性）
- ・発表内容（分かりやすさ、教材・発表の工夫）
- ・質問に対する対応、対象を巻き込んだ実践
- ・態度・話し方（対象を尊重した姿勢、言葉遣い）
- ・メンバーシップ（役割推敲、協力体制）

<学生>

点数化せず、◎・○・△で評価、自由記載欄も設ける

- ・分かりやすさ
- ・発表の工夫
- ・態度・話し方（対象を尊重した姿勢、言葉遣い）

令和5年度 60回生 授業概要(シラバス)

第1回	市町村保健センターの役割（業務内容、関連職種） 地域における保健師の役割と、保健活動の実際 保健指導に関する事例紹介	畠山
第2回	あらゆる発達段階における指導・教育技術方法の具体 方法、コミュニケーションスキル、留意点、集団・個別指導の効果など	
第3回	基本的な、教育・指導技術 教育・指導内容の決定（対象の特定、指導内容）計画書の作成	
第4回	教材作成・リハーサル	
第5・6回	発表	
第7回	発表後の振り返り 対象の行動変容に働きかけるための課題・改善点の抽出 まとめ：健康を維持・増進するための看護師の役割	
第1回	市町村保健センターの役割（業務内容、関連職種） 地域における保健師の役割と、保健活動の実際 保健指導に関する事例紹介	畠山
第2回	あらゆる発達段階における指導・教育技術方法の具体 方法、コミュニケーションスキル、留意点、集団・個別指導の効果など	
第3回	基本的な、教育・指導技術 教育・指導内容の決定（対象の特定、指導内容）計画書の作成	
第4回	教材作成・リハーサル	
第5・6回	発表	
第7回	発表後の振り返り 対象の行動変容に働きかけるための課題・改善点の抽出 まとめ：健康を維持・増進するための看護師の役割	